

令和4年度 事業方針

兵庫県子ども会連合会（以下：県子連）は、社会環境が変化し複雑化していく中、子どもたち自らが生きる力を身につけ、地域の新しい担い手となるよう、地域社会の皆様と子ども会活動を通して子どもたちの成長・見守り・支えとなるなど地域社会に根差した活動となるように取り組んできました。

しかし、少子高齢化問題や急激な情報化の進歩や、一昨年からの新型コロナウイルス感染症の世界的流行、国内外での未曾有の災禍によって社会生活を脅かすなどの、様々な要素により地域のつながりの希薄化が進み、子ども会を取り巻く環境の大きな変化や生活そのものの制限を強いられることによって、活動の在り方自体が揺らぐなどの要因で会員数は減少傾向にあります。

まずは、子どもたちが元気で逞しく健やかに成長出来る様な子ども会活動であり、地域に根差す活動として実施できるよう、県子連は県民局ブロック子連や各市・町子連の子ども会の指導者・育成者と協力体制を密にし、ともに連携・連帯し、地区や単位子ども会の充実、発展や改革・変革を図るために支援します。

また、関係諸団体、企業等や諸機関とも連携強化を図り、子どもたちにとって夢のある明るい未来を築けるよう、連合組織の強化や指導者・育成者の資質向上に努め、「子ども会」の姿が見え、子どもたちがいきいきと育つ地域づくりを目指します。

1. 会員の増加を目指し、IT化と活動内容の充実を図ります。
2. 子ども会育成会の充実に向け、育成者支援の取り組みを推し進めます。
3. 子ども会の活動振興に向け、ブロック子連、市・町子連、関係諸団体や企業などと連携強化に努めます。
4. 県子連が主体となり地区、単位子ども会を支援します。
5. 安全教育を推進し、安心して安全な活動づくりを実現します。
6. 多文化共生への理解を深める地域づくりや環境づくりを推進します。
7. 活動体験を推進し、子どもの身体の成長や健康を学ぶ機会を提供します。
8. 全国子ども会連合会及び近畿地区子ども会連絡協議会の取り組みを推奨します。

追記

新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、誰もが未経験の未曾有の災禍に見舞われ、未だ終息が見えないことに大きな不安の状況にあります。ワクチン接種の広がり、新しい治療薬の開発への希望などもあり、困難な状況であっても少し明るい萌しも見受けられます。本年も常に緊張感を持ちながらコロナ禍からの脱却を図るため一歩一歩新たな取り組みを模索し、途切れることなく継続していくことが大切です。